

COMPUTATIONAL CLAY 2017

COMPUTATIONAL CLAY

PAVILION DISPLAY & PANEL EXHIBITION

MAR 14TH – 24TH am

Kajima Technical Research Institute
Main Complex entrance lobby
Exhibition Space

主催

鹿島建設株式会社

企画

東京大学建築学専攻 Digital Fabrication Lab (DFL)

In collaboration with

鹿島建設株式会社

東京大学大学院情報理工学系研究科コンピュータ科学専攻 五十嵐健夫研究室

東京大学大学院新領域創成科学研究科社会文化環境学専攻 佐藤淳研究室

T-ADS

鹿島
KAJIMA CORPORATION

東京大学建築学専攻 Digital Fabrication Lab(DFL)では、建築施工におけるデジタル技術の活用をテーマに、毎年実験的なパビリオンを制作しています。単に技術による自動化や高度化を目指すのではなく、そこに「人間が関わること」の可能性を探る実証の場として、これまで、「人間と機械が融合した3Dプリンター」や「巨大3Dペン」を建築スケールで再現してきました。

本年Computational Clayプロジェクトでは、「人間が関わること」をより一層推し進め、個性としての身体パフォーマンスを建築表現に反映させるため、人の動きと素材との関係に着目したユニークなパネル加工システムを開発しました。

東京大学本郷キャンパスにおけるパビリオン展示は昨年末に終了しましたが、パビリオンの一部と制作過程について、鹿島技術研究所にて公開展示いたします。

日時: 2017年3月14日(火)~24日(金), 平日9:00~17:00(最終日は午前のみ)

※3月18日(土)、19日(日)、20日(月・祝)の公開はありません

会場: 鹿島技術研究所 本館 (エントランスロビー)
東京都調布市飛田給2-19-1

